

日本白血病研究基金令和2年度 研究助成 選考講評

認定特定公益信託 日本白血病研究基金運営委員

堀部 敬三（名古屋医療センター上席研究員）

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な大流行により、社会機能が制約され、行動・生活変容が求められる中、白血病患者の治療や COVID-19 患者の治療や感染対策・治療にあたられている皆様に心よりお見舞いと敬意を表します。また、そのような中、今年も日本白血病研究基金助成事業に多数応募いただき感謝申し上げます。

応募者数は、前年の2019年を上回る61件でした。分野別では、内科26件（うち若手枠11件）、小児科10件（うち若手枠6件）、基礎・その他22件（うち若手枠11件）、学会推薦が3件でした。選考は予備審査を経て、年齢制限なし枠15名、若手一般賞枠12名が最終選考に残りました。厳正な審査の結果、年齢制限なし枠の研究助成として、荻村孝特別研究賞 武藤朋也先生、クレディセゾン賞 古川雄祐先生、清水賞 今村俊彦先生のほか、一般研究賞4名、若手一般研究奨励賞として、若手一般研究賞井手賞 小林央先生のほか若手一般研究賞4名、そして、学会推薦臨床医学特別賞2名、小児領域特別研究賞である毎日賞1名が受賞されました。

受賞された先生方には、誠におめでとうございます。

いずれも甲乙つけがたい研究ばかりであり、最近の新たな分子標的薬や免疫療法の開発による白血病治療のブレイクスルーを受けて、白血病の発症機構や病態解明の基礎研究のみならず、新規治療開発を目指した橋渡し研究が多く取り組まれており、大いに成果が期待されます。

受賞された先生方には、今後のますますのご発展を祈念いたしております。